

受け継ぐ

手技と先端技術を使い分け
高度なニーズに応え続ける
多能工が会社の未来を照らす

株式会社宮城化成(栗原市)

製造部FRP製造課課長
高橋 克也さん Kasuya Takahashi

会社の期待に応える

先輩多能工・高橋課長に

FRP成形の真髄を学ぶ

宮城化成には北工場、南工場があり、ハンドレイアップ成形法を用いて製品づくりを行っているのは南工場。千葉さんは昨年11月にこの南工場から北工場へ異動した。ここには先輩多能工と言える高橋課長がおり、今は様々なアドバイスをもらいながら仕事を進めている。「高橋課長には尊敬の念しかありません。何でも高いレベルでできるので、相談もしやすく本当に心強い上司です」と千葉さん。高橋課長は、千葉さんのものづくりに臨む姿勢を高く評価する。「いわゆるセンスもありませんが、探究心が旺盛です。まさに多能

工となって、会社をもっと盛り立ててほしいです」

「git RIM成形法は型にガラス基材をセットし、凸凹の型を真空状態にして型縮めをして、注入機で樹脂を注入してFRPを成形する方法だ。「真空状態になったかどうかを見極めるのはちょっとした経験が必要」と高橋課長は語る。



製造部FRP製造課
千葉 隆敬さん Takamori Chiba

頼もしい師弟コンビ
技術を丁寧
後輩に託していく

どの成形法でも複数の工程があり、例えばハンドレイアップ成形法であれば、型整備、ゲルコート塗布、積層、脱型、トリミング、アッセンブリ、仕上げ、検査、梱包といった流れになるが、宮城化成ではほとんどの社員が一部の工程のみを担当する。これは効率化を図るためなのだ。が、工程の全体を見通せる技術者がいないと、何か問題があったときの対応はやはり時間がかかる。

「会社としては何でもできる多能工がもっと必要だと考えたのです。そこで白羽の矢が立ったのが千葉君です。千葉君

FRP一筋36年
わくなき探究心で
業界をリードする

FRP (Fiber Reinforced Plastics) 繊維強化プラスチック(製品)の製造、販売を行う株式会社宮城化成。創業は1987年で、当初からFRP製品の生産を行ってきた。FRPは軽量で、耐久性、耐衝撃性、耐摩耗性に優れることから、建築資材、家庭用の浴槽、ヘルメット、航空機部品などの分野で利用され、特に宮城化成は株式会社光岡自動車(現:光岡工業)のボディを生産していたことでも知られる。

現在28歳の千葉隆敬さんは入社10年目。「以前からFRP製品に興味があった」と話し、宮城化成のことも当然知っていた。高校卒業後、念願の同社への



就職を果たし、これまでにハンドレイアップ成形法を習得。型づくりに携わり、その技術の確かさは折り紙付き。なお、ハンドレイアップ成形法とは型にガラス基材をセットし、ローラーを用いて樹脂を積層していくやり方で、いわば手作業でFRP製品を作っていくものだ。そんな千葉さんは会社から命を受け多能工となるべく、今、高橋克也課長の下で主に「git RIM成形法」について学んでいる。



南工場の様子。千葉さんはここでハンドレイアップ成形法の技術を磨いた

なら、私も適任だと大鼓判を押します」と高橋課長。責任の重さを感じる一方、千葉さんは期待の大きさにうれしさも覚える。元々この仕事が好きで天職だと考えている。2021年には国家資格である、強化プラスチック成形技能士の強化プラスチック成形(手積み積層成形作業)1級も取得した。

「高橋課長にもっともっと成形について様々なことを教わりたいと思います」。釣りが共通の趣味という2人。海釣りに連れ立っていったこともあるという。頼もしい師弟コンビが宮城化成を支える。



株式会社宮城化成

所在地 栗原市一迫北沢半金沢18-3 (本社・北工場)、栗原市一迫北沢半金沢15-4 (南工場) □代表取締役/小山 昭彦
 □資本金/2,000万円 □設立/1987年 □従業員数/50人(2022年3月現在)
 □事業内容/FRP製品の製造・販売、建築関連工事、建築資材のレンタル・販売
 TEL 0228-52-3931 <https://www.miyagi-kasei.co.jp/>



千葉さんに先んじて様々な技術を自分のものにしてきた高橋課長。> そのレベルの高さに千葉さんは舌を巻く